

2023年3月16日(木)

老球の細道721号

## コーチの世界基準(その2)

会津バスケットボール協会 室井 富仁

皆さん御存知のようにトステイン・ロイブル氏はFIBAのコーチインストラクターとして世界中を駆け巡っている。そもそもFIBAのコーチインストラクターというのはどの国でも通用するコーチを育成しようという目的で作られたコーチのためのコーチである。さらに現在ではどの国においてもコーチが同じレベルの資格(国際公認コーチ)で指導できるよう、コーチ育成の共通カリキュラムが作られている。これによって日本のコーチが国際レベルのコーチングができるようになるのも間近になるだろう。

国際公認コーチ(仮称)のレベルはレベル1からレベル3まであり、レベル1を取得するにも相当難しいという。細かい内容は〈wabc.fiba.com〉というウェブサイトに掲載されている。現在JBAが翻訳中である。

この世界基準コーチの評価は「人格」「デモンストレーション能力」「コーチの可能性」の3点で評価されるという。ちなみにレベル1での評価は「知識」「指導力」「人格」がポイントである。その中で「練習の組み立て方」も評価される。

私たちの日々のコーチングに参考になることを下記に掲載する。

【練習の組み立て方チェックポイント】: 5項目のうち3項目以上が完璧にできる。

- ①練習計画: 練習内容、説明内容、指導内容が適切か
- ②練習計画を正しく実行しているか
- ③指導技術: はっきりした声で、正しいポイントをわかりやすく伝えているか
- ④ミスの修正方法は適切か: 個人的に注意するか、全体として注意するか
- ⑤練習の効率: 全員が効率よく動いているか。

### 【日常の指導における簡単な原理原則】

\* 練習に時間通りに行くだけではいけません。あなたが最後に来て、最初に体育館を出る人でないことを確認すること。

\* 練習中に不必要なおしゃべりをしないこと。

\* 練習中に座っているコーチはいません。

\* 私たちは完璧なバスケットボールの世界で働いているわけではありません。問題解決に関心を寄せるよりも、不平や非難を発する事を優先しないように。

\* 良い結果が出たとしても、自己満足に陥らないこと。自己批判を怠らず、アドバイスや新しいアイデアに対してオープンマインドでいること。

\* 練習のたびに、少なくとも一人のプレーヤーに個人的なフィードバックを与える時間をとること。

\* 練習中にメモを取り、選手やコーチに貴重なフィードバックをすること。

\* 選手の前では飲酒、喫煙をしない。

\* 身だしなみに気をつけましょう(コーチ・先生らしく)

〈完〉